IoT推進のための横断技術開発プロジェクト

も・経05

産業技術環境局　研究開発課
03-3501-9221
商務情報政策局　情報通信機器課
03-3501-6944
商務情報政策局　情報セキュリティ政策室
03-3501-1253

平成２８年度予算案額　33.0億円（新規）

事業の内容

事業目的・概要

- デバイス・情報処理・ネットワーク技術の高度化により、「デジタルデータ」の利用可能性と流動性が飛躍的に向上し、①実世界から収集された多種多量なデジタルデータの蓄積・解析と、②解析結果の実世界への還元が社会規模で行われる変化が世界的に進展していきます。
- IoT（Internet of Things）と言われるような世界最先端の関連技術（センサー・情報処理・セキュリティ等）を、社会のあらゆる分野に実装することで、実世界とサイバー世界とのバランスのとれた相互連関（CPS：Cyber Physical System）による社会全体の生産性と効率性を最大限向上させた社会の実現が可能となります。
- このため、世界に先駆けたIoT推進のために不可欠となる分野横断的な共通基盤技術について、産学官の連携体制で研究開発を実施し、成果の社会実装を進めます。これにより、我が国発のオープンイノベーションを促進し、社会課題を解決するとともに、我が国全体の産業競争力強化とエネルギー利用効率向上を強力に推進します。

成果目標

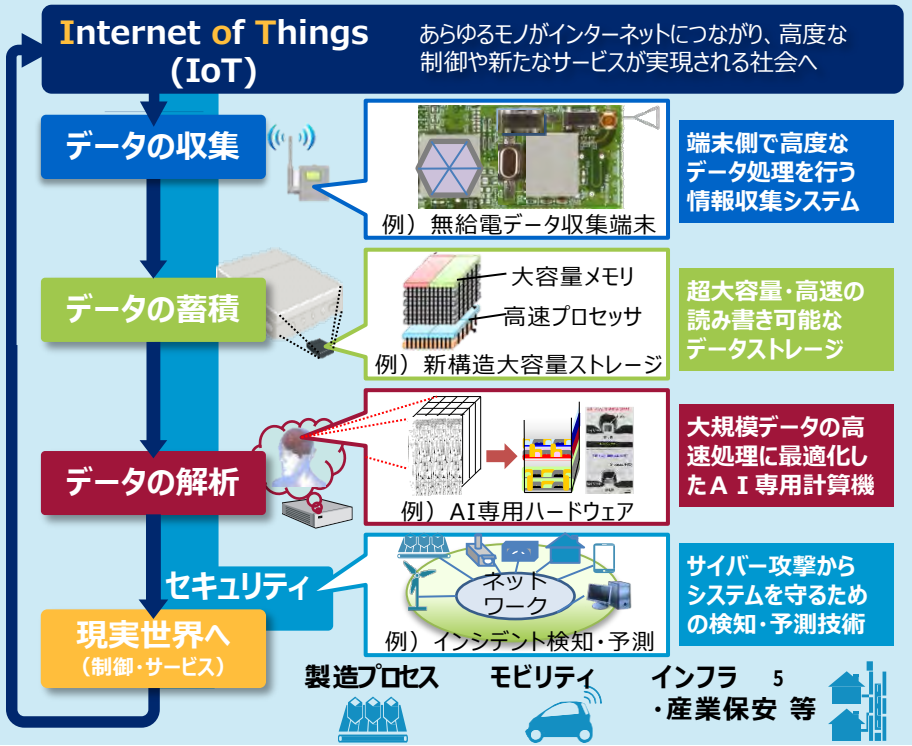
- 平成28年度から平成32年度の5年間の事業であり、次世代のIoT推進を支える分野横断的な共通基盤技術（デバイス・情報処理・セキュリティ等）を創出します。（平成42年度において約1,300万t/年のCO_2削減を目指します。）

条件（対象者、対象行為、補助率等）

国 →（交付金）→ NEDO →（委託／補助（1/2））→ 民間企業等

事業イメージ

- 今後のIoT推進において必要不可欠となる分野横断的な共通基盤技術である、データ収集・蓄積・解析等に係る技術について、従来に比べて格段に省エネルギーで高度なデータ利活用を可能とする次世代技術を産学官の連携体制で開発します。
- 具体的には、データ収集システム、高速大容量データストレージシステム、人工知能計算機基盤技術、セキュリティなどの研究開発を実施します。
- あわせて、関連する知財や研究データの集約・強化を図ることで、多様な大学・企業等が最先端技術を活用しやすい仕組みを構築し、研究開発成果の普及を促進します。



産業技術環境局　研究開発課
03-3501-9221

次世代人工知能・ロボット中核技術開発

平成28年度予算案額　30.6億円（10.0億円）

事業の内容

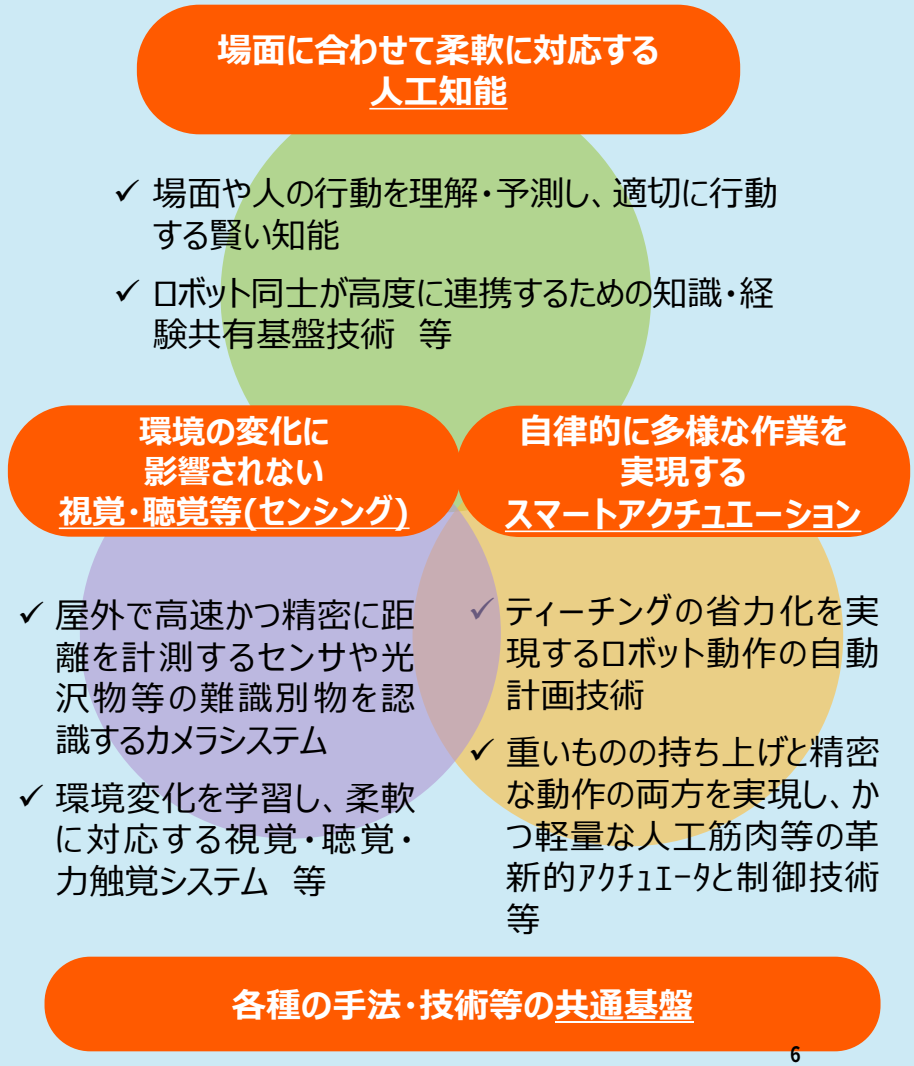
事業目的・概要

- ロボットが日常的に人と協働する、あるいは人を支援するIoT社会の実現により、少子高齢化の中での人手不足やサービス部門の生産性の向上等の課題の解決が見込まれます。
  しかし、このような社会を実現するためには、ロボットが場面や人の行動を理解する技術や、柔軟に行動する技術など、人工知能をはじめとする必要だが未達な技術が存在します。
- 本事業では、こうした未だ実現していない次世代の人工知能・ロボット技術のうち中核的な技術の開発を、産学官の連携で実施します。
- また、新たな技術の導入にあわせて必要になるリスク・安全評価手法、セキュリティ技術など、各種の手法・技術等の共通基盤も研究開発します。

成果目標

- 平成27年度から31年度までの5年間の事業であり、最終的には開発を進めた人工知能等の中核技術を基に６種類のロボットの開発を目指します（平成32年度目標）。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

国 →（交付金）→ NEDO →（委託）→ 民間企業・大学等

事業イメージ